

安心・安全で元気な地域づくりを目指して 柏崎市コミュニティ推進協議会だより

令和7年
12月12日発行

No.25

柏崎市コミュニティ推進協議会（通称 コミ協）とは…

市内全域の27地区のコミュニティ協議会で構成された組織です。協議会では、各地区の地域づくりの中心的役割を担うコミセン職員が集まり、研修や広報活動を通じて各コミュニティの抱えている地域課題の解決に向けた取組を行っています。

バックナンバーは
こちらから→



推進協議会の研修報告① 新任者研修

令和7年6月12日、市役所1階多目的室にて新任者研修を実施しました。

新任のコミセン職員を中心に19名が参加し、研修後のアンケートでは、参加者の約9割が「とても良かった」「まあまあ良かった」と回答するなど、全体として満足度の高い内容となりました。

第一部では、市民活動支援課から「柏崎市のコミュニティ制度」について説明を行いました。参加者からは「コミセンに公民館を併設する形が柏崎独自のスタイルだと初めて知った」などの声があり、制度への理解を深める機会となりました。

第二部の意見交換会では、先輩職員も交えた対話

が行われ、新任者からは「他コミセンの状況や悩みを共有できた」といった感想が聞かれました。先輩職員からは、地域住民との関係の築き方など、現場ならではのアドバイスもあり、お互いに刺激になる場となったようです。

今回の研修が、新任者にとってコミセン運営の基礎となり、今後の活動に繋がっていくことを期待しています。



横田会長を偲ぶ

去る9月1日、本協議会の会長である横田誠一様がご逝去されました。横田会長は「繋がりが希薄な今だからこそ、コミュニティ活動を盛り上げていこう」とよく語り、地域の活性化に

尽力されました。その思いを引き継ぎ、私たちは今後も地域活動を支えていく所存です。横田会長のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

第25回 元気なコ ミ セン におじやまします



北鯖石コミュニティ振興協議会
センター長
間島 みよ子 さん
所在地
柏崎市中田2295-1
TEL/FAX 0257-24-4549



剣野コミュニティ振興協議会
センター長
高橋 達也 さん
所在地
柏崎市常盤台25-5
TEL/FAX 0257-21-7533



高浜コミュニティ振興協議会
会長 兼 センター長
久保田 正嗣 さん
所在地
柏崎市宮川2298-3
TEL/FAX 0257-35-2002

北鯖石コミュニティセンター

●コミュニティセンターの紹介

地域の拠点づくりとして、昭和53年市内で7番目に旧北鯖石小学校の運動場をそのまま改修し開設されました。以来、講座や趣味サークルの会の育成・運動関係などいろいろな分野で活動を展開しています。

●地域の紹介

柏崎市の中心部より東へ4kmの場所にあり、人口2,675人、768世帯の平場地域です。地域の面積は10.3km²でコミュニティセンターは地域の中心にあります。鯖石川で地域は分断されています。5町内、小学校は1、保育園1があり、核家族化が進む一方で高齢者世帯が増加しており、昭和30年柏崎市への合併からほぼ横ばいの人口であ

剣野コミュニティセンター

●コミュニティセンターの紹介

平成8年4月に市内で25番目のコミュニティセンターとして開設され、令和8年度に創立30周年を迎えます。市の西部、国道8号沿いに位置し、隣には剣野小学校があります。建物の脇にはあじさい園が広がり、梅雨の時期には色鮮やかな花が咲き揃います。

●地域の紹介

6町内、約2,200世帯で構成され、若い世代から高齢者まで幅広い年齢層が暮らす地域です。自然豊かな町で、鶴川沿いの遊歩道には桜並木が続き、春には桜が咲き誇り、地域の人たちの散歩コースとして親しまれています。また、コ ミ センに隣接する剣野小学校は令和8年度に鯨波

高浜コミュニティセンター

●コミュニティセンターの紹介

柏崎市中心部から北へ13km、海岸線沿いに位置し、西は日本海、東は西山山脈の丘陵地に挟まれています。海岸では季節ごとに海水浴やサーフィン、釣りを楽しむ人々が見られます。

●地域の紹介

海と山に囲まれた自然豊かな地域です。大湊には地域の守護神が祭られた大湊神社、椎谷には広く親しまれている椎谷観音堂、宮川には源義経も参拝したと伝えられる宮川神社があります。歴史好きには魅力的な史跡が多い地域です。

●活動の紹介

コミュニティ活動は、6つの基本方針に基づ

ることも特記すべきことです。

●活動の紹介

地域のキャッチフレーズである、「居心地よい北鯖石で 和(わ)・喜(き)・愛(あい)・逢(あい)」のもと、安全安心な地域づくり、支えあい触れ合う地域づくり、子育てしやすい地域づくり、元気いっぱいの地域づくり、愛着の持てる地域づくりを目指し活動を進めています。また平成19年の中越沖地震から、活動の重点を防災意識の向上につとめ、住民誰もが安心して安全に暮らせる地域をめざして活動を進めています。

※センター長の顔写真に代わってイラストを掲載しています。コミセン職員を象徴する動物が描かれていますので、誰がどの動物か気になった方は、ぜひコミセンに足を運んでみてください。



健康ウォーク



防災訓練



防災研修

小学校・米山小学校と統合し、西小学校として新たに開校予定です。

●活動の紹介

「だれもが笑顔で安心なくらしをつなげるまち」を目指し、町内会・専門部・地域協力団体と連携して活動に取り組んでいます。専門部は5つあり、地域交流や安心な暮らしを守る事業を行っています。

みまもり安全部は交通立哨や夜間パトロール、自主防災訓練などで、防災意識の向上や犯罪・事故の未然防止に貢献しています。

また、「土曜こどもくらぶ」は長年続く事業の一つです。年6回、土曜日の午前中に子どもたち約20人と地域ボランティアが集まり、工作やスポーツ、バス旅行など、毎回異なる体験を楽しんでいます。



あじさい園



自主防災訓練



土曜こどもくらぶ

き、常任委員会、コミセン委員会、地域住民の協力を得て行っています。

健康づくり・しあわせ作りでは、体操やリラックスヨガで身も心もリフレッシュしています。生きがい学習講座では、陶芸や味噌作りなどを行っています。高浜コミセン元気度アップイベントでは、子供たちの工作教室を開催し、今年は陶芸でのランタン作りを楽しみました。花いっぱい・夢いっぱい事業では、広場整備や花壇作りを行い、春には色鮮やかなチューリップ、秋にはきれいな赤みのコキアを楽しめます。事業の参加者は、「やってみたい、作りたい、聞いてみたい」といきいきと取り組んでいます。小さなコミセンですが、今後も、「ほっとコミセン」でありたいと思います。



陶芸教室



味噌作り教室



リラックスヨガ教室

推進協議会の研修報告② 主事研修

令和7年9月9日、地域の健康づくりや市民活動の拠点となる施設の取組を学ぶため、コミュニティバスで主事研修を実施しました。視察先は見附市の「市民交流センター ネーブルみつけ」と長岡市の「米百俵プレイス ミライエ長岡」です。

「ネーブルみつけ」では、見附市職員から、市民が主体的に健康づくりに取り組む先進的な事例を学びました。説明後は、交流サロンや直売所、子育て支援センターなど多機能が一



体化した施設の見学も行いました。

「ミライエ長岡」では、長岡市職員からの説明後、施設見学を行いました。イノベーションサロンやものづくりラボなど、幅広い世代が集まり新しい学びや仕事に出会う場所づくりがされており、参加者からは「本棚一つをとっても、来場者に興味を引かせるような展示方法などの工夫はコミセンでも取り入れていきたい」との感想が聞かれました。



推進協議会の研修報告③ センター長研修

令和7年10月2日、市民プラザにてセンター長研修を実施しました。地域づくりの中心的役割を担うセンター長の業務に関する情報交換を目的とした研修です。研修後には懇親会も行い、参加者同士の交流が深まりました。

研修では、市民活動支援課から「不正を未然に防ぐためのセンター長の役割」について説明を受け、不正防止対策や適正な事務処理、センター長の役割について、5つのグループで意



見交換を行いました。

参加者からは、「センター長同士で集まり、他コミセンの運営方法を聞けて良かった。自分のコミセンの改善に役立つアイデアを得られた」、「各コミセンでの管理運営や執行方法が異なることが分かったため、今後、現金管理等の手法について再検討していきたい」、また「普段話せないセンター長と会話ができ良かった」といった感想が寄せられました。



広報部会の取組報告

今年度の広報部会では、新たな取り組みの一つとして市ホームページの内容を充実させました。この取り組みは、各協議会の活動や地域の魅力をより広く伝えることを目的としています。

従来のコミセン案内ページは施設情報のみの掲載でしたが、各協議会の取り組みを追加することで、地域の特色や活動内容をより多くの方に発信できるようになりました。

大洲地区振興会の情報

「子どもから高齢者までが利用できる大洲コミセン」を目指して活動しています。「好きです大洲、住んで良かった大洲」を合言葉に、地域住民が主体となり、にぎわいのある地域づくりに取り組んでいます。



合言葉が書かれたコミセン看板 チューリップで描かれた絵 コミセンとチューリップ